

日本の未来をともに創るために

内閣総理大臣のリーダーシップを支える「知恵の場」となる —

この旗印の下に内閣府が2001年に設置され、これまで内閣の重要政策の司令塔として、様々な分野の政策形成を主導してきました。この冊子で紹介された職員の経験や業務内容はその一端に過ぎませんが、職員一人一人が得意とする能力・スキル、専門知識に磨きをかけ、官民学等の多様なネットワークを構築し、時々には生じる社会課題に取り組んでいます。

国全体を俯瞰し、国民目線に立って、国民がより豊かさや幸せを実感できる社会に変えていくために鍵となる処方箋を提起していく、これが内閣府で働く醍醐味でもあります。そのために、未来を見通し、世の中のニーズを捉え、個人も組織もチャレンジ精神と柔軟性をもって対応していくことが求められます。

この冊子を手にして内閣府の仕事に関心を持たれた方は、ぜひ内閣府に足を運んでいただき、職員の仕事に対する熱意に触れていただければと思います。ともに刺激を受け、自らも成長できる環境を実感いただけたらと思います。

佐藤 鐘太 内閣府大臣官房人事課長

杉田 和暁 内閣府大臣官房人事課参事官

内閣府とは何か。

What is Cabinet Office ?

- 01 内閣府という組織
- 02 内閣府のミッション
- 03 内閣府で歩む道
- 04 内閣府を知る